

# 佐々並地区にまつわるストーリー

## 中国山地の山間に開かれた里、佐々並

佐々並は、中国山地の西端部・鳳凰山脈の麓に位置する山間地域で、佐々並川が開いた谷底平野と段丘に集落が点在しています。平安後期からその地名は存在し、田畑の石垣や薪炭林の名残など、昔ながらの山里の風景を見ることができます。開拓が奨励された近世には、井出や用水溝などの灌漑施設も整備されました。集落には水路網が張り巡らされ、各水源から引かれた水は田畑や生活の用に使われた後、最終的にはすべて佐々並川に戻され下流域に送られる仕組みになっていました。それらの水路は現在でも市や久年の集落の中で確認することができます。

### 山里の農村風景を巡る

- 1 道の駅あさひ
- 2 落合の石橋と田園風景
- 台山
- 山里の集落
- 10 重伝建地区の眺め
- 12 棚田
- 畦道を通る萩往還
- 21 田ノ原の棚田
- 舞谷川沿いの田園
- 35 武者返し石垣
- 国道262号

## 赤瓦の町家が佇む萩往還の宿場町 佐々並市 (重要伝統的建造物群保存地区)

佐々並市は、江戸時代に萩と三田尻（防府市）を最短で結ぶ53kmの古道「萩往還」の宿駅を果たした宿場町です。慶長11年（1606）に藩主が休憩する「御茶屋」が設けられたことにより、上ノ町から中ノ町を経て、西岸寺に至る久年までの62軒からなる町並みが一挙に成立しました。農業を営みながら宿を提供した家も多く、上級武士が休息した「御客屋」や人馬や駕籠の調達を行った「目代所」として使われた建物が現在も残されています。

### 佐々並伝建まちなみ探訪トレイル

- 1 台山
- 2 御茶屋跡 お殿様の休憩場所
- 3 佐々並の戦い跡
- 4 上ノ町の町並み
- 5 旧小林家住宅（目代所跡）
- 6 中ノ町
- 7 久年



行程記のうち佐々並の図 山口県文書館蔵

## 志士たちが行き交い、幕末の動乱を目撃した町、佐々並

幕末には吉田松陰、高杉晋作、木戸孝允、坂本龍馬など、維新の志士達が萩往還を通り、佐々並市で休泊しました。高杉晋作率いる奇兵隊らと藩の保守派が戦った「大田・絵堂の戦い」では、脇戦として佐々並市も戦場となり、12軒の家が焼失しました。その当時に建て替えられた家が今も残っています。

## 佐々並地区の暮らし文化

佐々並の暮らしに深く関わってきたお地藏様は今でも各所で大事にされ、ユニークな風習が残っています。

**お地藏さまのお接待**…8月24日、各集落ではお地藏様にお化粧をし、前掛けを新調し、小豆御飯、くろめ（アラメ）の煮しめ等の料理をふるまっていました。内容は変化しつつありますが、現在も続いている集落があります。



**地藏婚**…お嫁さんの座りが良いようにとの願いを込めて、集落の若い衆が新郎新婦に見立てた1対のお地藏様を担いでお祝いに來ます。だんだん減ってはいますが、今でもトラックで披露宴会場へ運んでお祝いすることもあります。

### 佐々並の食

伊藤博文のお気に入り！ ささなみ豆腐



「道の駅あさひ」や「はやし屋」で食べられます！ 豆腐料理

※豆腐ステーキ、お豆腐スイーツ…etc.



昔の栄養ドリンク!? おいでん祭でおふるまい！ 甘 粥（あまぎやあ）



### 佐々並季節暦

春

- 萩往還ワンデューオーク（3月中旬）
- 桜
- 田植え
- キシツツジ

夏

- ホタル（6月〜7月上旬）
- 佐々並川の鮎掛け
- 精霊流し（8/15）
- お地藏様のお接待（8/24）

秋

- 稲刈り（9月上旬）
- 六所神社秋季例祭（10月3日曜）
- 佐々並おいでん祭（11月下旬）

冬

- 寒餅つき（1月〜2月）
- つるし柿

### 施設のご案内



### 佐々並ご案内処 旧小林家住宅

かつて目代所だった町家を開放して佐々並のご案内をしています。お気軽にお立ち寄りください。開館時間：8:00〜17:00

### ガイドのご案内

#### 佐々並市まち歩きガイド

時間／約1時間30分程度。ご希望の時間にご案内します。料金／ガイド一人につき1,000円（参加者20人まで）申込／佐々並公民館へお電話でお申込ください。電話0838-56-0008（月〜金：17時まで）

平成26年3月現在

編集

萩往還佐々並どうしんてやろう会  
萩・あさひ体験の駅連絡協議会

発行

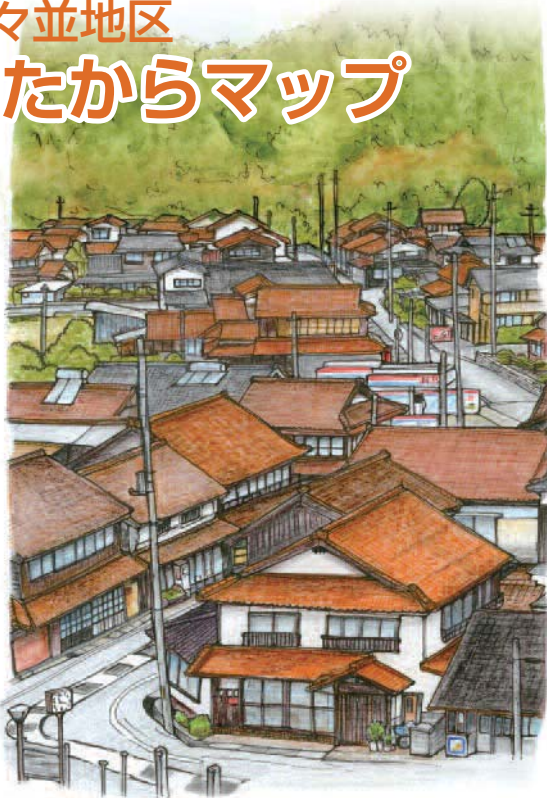
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）



## 萩まちあるきマップ

## 佐々並地区 おたからマップ



佐々並は、近世以前から長い年月をかけて地域の自然と共に育んできた暮らしの営みが息づく美しい山里です。そして萩往還の宿場町・佐々並市には、近世の町割りが良く残り、茅葺民家や明治以降の石州赤瓦の町並みが周囲の棚田などと一体となって宿場町の風景をよく伝えています。かつて、お殿様が休憩をとり、維新の志士達も駆け抜けた山里を、あなたもタイムスリップ気分ですべて巡ってみませんか。



このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!! [machihaku.city.hagi.lg.jp/db/](http://machihaku.city.hagi.lg.jp/db/)

佐々並おたからマップ

季節のおすすめ ③ もみじ

山に囲まれた佐々並。晩秋には、紅葉で彩られた山里の風景が楽しめます。ドライブやウォーキングで巡ってみてください。

お地蔵様・観音様と社寺を巡るトレイル

佐々並では、各集落でお地蔵様や観音様が先祖代々伝わり、今も住民の生活の中で大切にお世話されていて、見る人を温かい気持ちにさせてくれます。ありがたいパワーを体感しに巡ってみませんか？

- 1 道の駅あさひ

11 貴布禰様

3 西岸寺

6 六所神社

17 観音山

16 西林寺

29 六地藏様
- 2 道の駅あさひ

12 貴布禰様

4 西岸寺

7 六所神社

18 観音山

17 西林寺

29 六地藏様
- 3 道の駅あさひ

13 貴布禰様

5 西岸寺

8 六所神社

19 観音山

16 西林寺

29 六地藏様

季節のおすすめ ① キシツツジ

佐々並川の清流と新緑の緑とのコントラストが美しいキシツツジ（岸つつじ、川つつじ）は4月～5月上旬が見ごろです。

季節のおすすめ ② ホタル

山間の谷川に沿って田畑が広がる佐々並には、ホタルスポットがいくつかあります。6月～7月上旬が見ごろです。

10 佐々並市重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）

江戸時代に萩と三田尻（防府市）を最短で結ぶ53kmの「萩往還」の宿駅機能を果たした宿場町佐々並市。そのころの景観を現在に至るまで色濃く残していることが評価され、平成23年6月に、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

江戸期のわらわさ、明治期の石州瓦の家屋、虫こ窓、しっくい壁など、明文化が残り、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。